

## ガバニングボード（第168回） 議事要旨

1. 日 時 令和8年7月23日（木）10：00～10：06

2. 場 所 中央合同庁舎第8号館6階623会議室

### 3. 出席者

総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）議員

鈴木議員（座長）、宮園議員、梶原議員、佐藤議員、菅議員、波多野議員

内閣総理大臣補佐官

宇野善昌

内閣府政府参与

南部智一

内閣府

濱野事務局長、井上統括官、福永統括官、原審議官、馬場審議官、恒藤審議官、

木村事務局補、岩渕参事官、岡崎企画官

外務省

沖外務大臣科技顧問

経済産業省

大野経産大臣科技顧問

文部科学省

小安文科大臣科技顧問、藤吉サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官

### 4. 議題

- （1）次期戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）の在り方検討会の設置について（案）（決定）

### 5. 配布資料

資料1 次期戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）の在り方検討会の設置について（案）

## 6. 議事

- (1) 次期戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）の在り方検討会の設置について審議し、決定された。

## 7. 議事概要

午前10時00分 開会

○鈴木議員 それでは、ただいまから第168回ガバニングボードを開催いたします。

本日は、公開で開催いたします。議題はお配りしております議事次第のとおりでございます。資料は終了後、公開可能な資料に限り、内閣府のホームページで公開いたします。

それでは、議題（1）次期戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）の在り方検討会の設置についてです。岡崎企画官より御説明をお願いいたします。

○岡崎企画官 S I P総括の岡崎でございます。私の方から説明をさせていただきます。

通し番号003を御覧いただけますでしょうか。資料1と書いてございます。こちらに、次期S I Pの在り方検討会の設置について（案）という紙がございます。

まず、設置目的でございます。こちらは、次期S I Pの課題設定に向けまして、次期S I Pにおける基本的な枠組みの検討と、それからターゲット領域についての提言を行うことを目的としまして、検討会を設置させていただきたいというものでございます。

検討事項につきましては、2で記載のとおりでございますが、まず（1）ターゲット領域の前提となります我が国が中長期で実現を目指す未来像・社会課題について、国研や産業界の皆様方をお呼びしまして、それぞれの未来ビジョンで示している内容等を共有いただきながら、未来像、それから社会課題を整理していきたいというように考えてございます。

そして、（2）に入りまして、次期S I Pのターゲット領域の検討ということでございますが、こちらについては、領域の選定に当たっての考慮要素として、次期S I Pの目的ですとか、あるいは成長戦略17分野との関係性、それから国家安全保障との有機的連携などについて、有識者の皆様と議論していきたいというように考えてございます。

そして、（3）に入りまして、S I Pの基本的な枠組みとしまして、次期S I Pの社会実装類型、いわゆる出口の件につきまして、より一層の明確化を図っていきたいという検討、S I Pが終了した後の接続設計、こちらについても議論をしていきたいというように考えてございます。それとまた、予算配分方法ということで、やはりS I Pは、予算が限られているということもありますので、いかに効果的、効率的に配分できるかというところにつきましても有識

者の皆様と議論していきたいというように考えてございます。

メンバーにつきましては、座席にお配りしております委員名簿のとおりでございまして、アカデミアの方4名、産業界の方4名、それからC S T I 議員の方4名、それに加えて海外から日本を俯瞰的に見ることのできるアカデミアの方ということで、合計13名の方で構成をさせていただきたいというように考えてございます。

また、スケジュールでございますが、4に記載のとおりでございますが、令和8年9月に第1回を開催させていただき、月1回ペースで、計3回行わせていただきたいというように考えております。

そして、2回が終わった時点で一度ガバニングボードに中間報告をさせていただき、また様々な御指摘を頂きながら、第3回の取りまとめに入っていき、また取りまとめた後にガバニングボードにおいて、課題候補の選定に向けて皆様と議論していきたいと、そのように考えているところでございます。

説明は以上となります。

○鈴木議員 ありがとうございます。

それでは、ただいまの御説明につきまして、まずは有識者議員の皆様から御質問や御意見をお伺いいたします。いかがでしょうか。佐藤さん。

○佐藤議員 ありがとうございます。

事前のときにも申し上げましたが、再度。検討事項の（2）のところについては、こういう切り口で非常にアップデートされてるなと思うんですが、もう一つ、第7期の計画の中で、この成長戦略、それから国家安全保障と同時に、科学技術とビジネスの近接化ということが一つのテーマになっておりますので、それを考えると、S I Pの中で結果として社会活動の中で実際のビジネスにつながっているかどうかという見方も大事な切り口なのかなと思います。そのためには7期の中にも入ってる産学連携の優位なエコシステムの形成ということにS I Pとしてどう絡むのかということは大きな枠組みの一つのテーマなのかなと思いますので、それを加えていただくという考え方もあるのかなと。

その際に、もう一つの観点ですが、結局産業化を考えると、サプライチェーンの問題がどうしても看過できないし、勝てる戦略であるためには、S I Pの中でも社会実装化の観点からサプライチェーンでどこで勝てるのかというアプローチも同時に、これ非常に難しいことであることは承知していますが、その焦点を当てるというやり方が今後は必要になってくるのかなというように思っていますので、よろしく御検討いただきたいということです。

以上です。

○岡崎企画官 御指摘ありがとうございます。御指摘を踏まえて論点を整理していきたいと思っています。ありがとうございます。

○鈴木議員 ほかに。

有識者議員でない方もどうぞ。

特になければ、この在り方委員会設置ということで、これは決定になりますが、御異議ございませんね。

はい、では決定とさせていただきます。

本件、ガバニングボードは今日はこれだけなので、以上で第168回ガバニングボードを終了いたします。

皆さん、どうもありがとうございました。

午前10時06分 閉会